

1. 国民の祝日には国旗をか、げよう
2. 交通規則を正しく守ろう
3. 明るく正しい選挙を実現しよう
4. 小さな親切を広めよう
5. 小さな暴力でも追放しよう
6. 定められた時間は必ず守ろう
7. 環境の美化につとめましょう

# 広報 ながす

## NAGASU

9 月 号  
昭和42年9月25日発行  
通算 第43号

発行者 長洲町中央公民館  
発行人 浮島三代喜  
編集者 広報長洲編集部  
印刷所 中央印刷紙工KK

出生 22名	男 13名	女 9名
死亡 17名	男 7名	女 10名
転入 63名	男 33名	女 30名
転出 55名	男 26名	女 29名
世帯数 3,451		
人口 15,405名		

## 町村合併10周年

— 10 月 1 日 —

### 長洲町の発展を期して

#### 数々の記念行事開催

昭和三十二年十月一日長洲町と腹栄村が合併してから、今年の十月一日で十年になる。長洲町では、この十周年を記念して、町を挙げて合併十周年記念行事を予定している。先ず、十月三日長洲中学校体育館で記念式典、三日から五日まで、公民館で文化祭展示会、三日午後一時より腹赤小学校で、小学校校区対抗ソフト大会、四日午前九時より長洲小学校で、一般並びに婦人会の各校区対抗ソフト大会等数々の記念式典が予定されている。なお、式典当日、合併後の功労者の表彰を行ない、名誉町民の制度も考慮されている。

#### 各種記念行事紹介

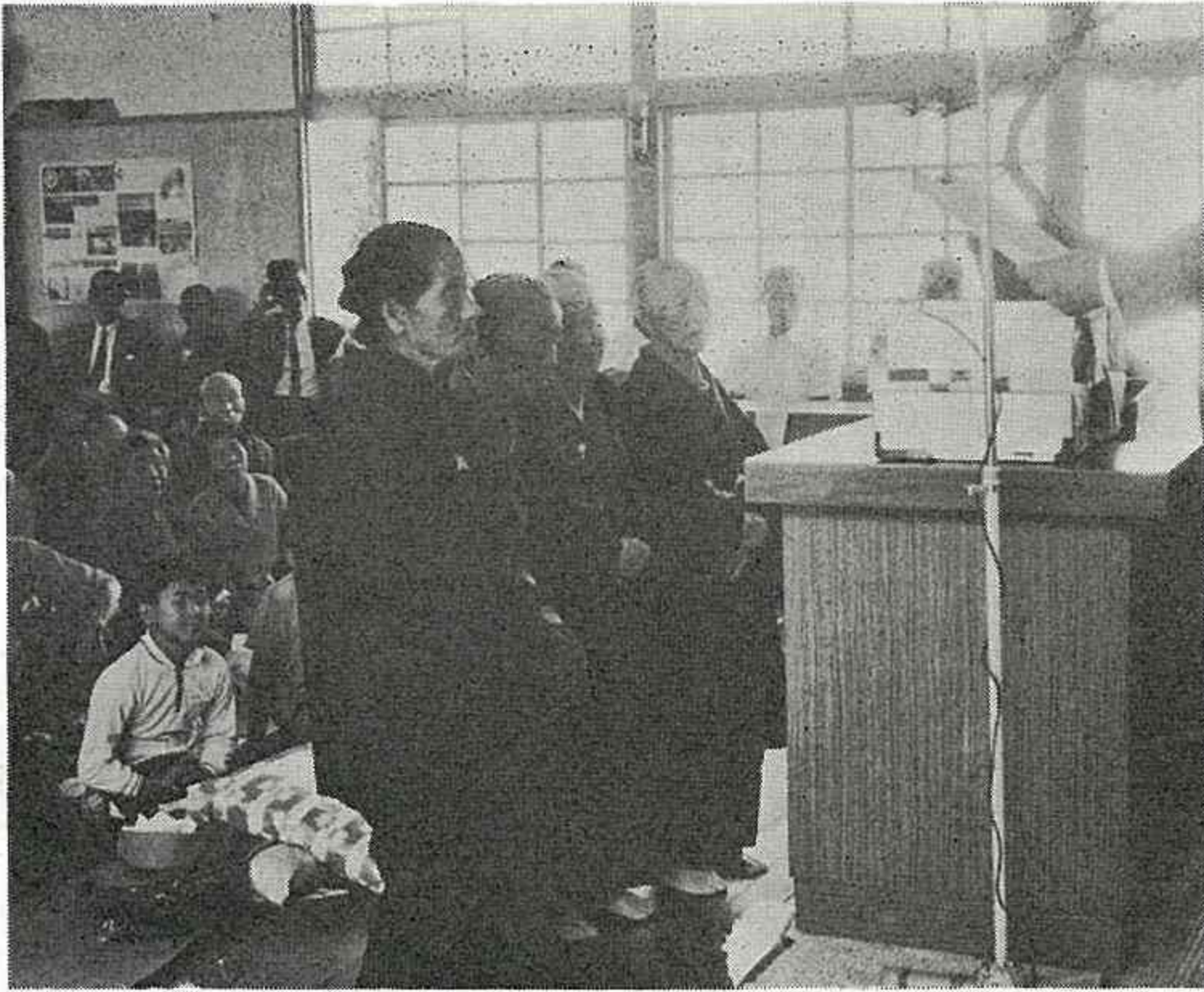
日時 十月三日午前十時  
会場 長洲中学校体育館  
長洲町内外の関係公職者並びに各団体代表を招待して、記念式典を行なう。式典には、自衛隊第八師団の軍楽隊が特別参加し、演奏や目技通りの市中パレードを行なう。又、町有志によりお祝いの踊り「鶴亀」や郷土民謡「嫁入唄」の踊りが行なわれる。なお、合併後の功労者に対して表彰も行なわれる。町民に対しては、全世帯に一枚ずつ記念品のタオルが贈られる。  
(文化祭展示会)  
日時 十月三日九時—二一時  
十月四日

十月五日九時—正午  
会場 長洲中央公民館  
児童館  
例年十月十五、六日の長洲祭に行なってきた文化祭を、今年には合併記念行事の一つとして行なうことにした。展示は、盆栽展、小中学生作品展、創作展、生花展、手芸展、わが家の自慢展、魚拓展、絵画書道展、美峰会展、金魚展等、数々の展示を予定している。なお、俳句、狂句、短歌、碁、将棋等の大会も適当な日時を決めて行なう予定である。

十月四日午前九時  
会場 長洲小学校  
各校区三十才以上(十月一日現在)のベストメンバーでチームを組織し、トーナメント戦を行なう。  
(婦人会対抗ソフト大会)  
日時 十月四日午前九時  
会場 長洲小学校  
一般校区対抗ソフト大会と同会場で、交互に試合を行なう。試合は四婦人会のトーナメント戦を行なう。

十月三日午後一時  
会場 腹赤小学校  
例年、秋に行なわれるソフト

大会を、今年には合併記念行事として行なう。各小学校から男女各一チームずつ出場して、トーナメント戦を行なう。  
各校区から四年以上の児童が応援に行くことにしている。  
(一般校区対抗ソフト大会)  
日時 十月四日午前九時  
会場 長洲小学校  
各校区三十才以上(十月一日現在)のベストメンバーでチームを組織し、トーナメント戦を行なう。



敬老会 四姉妹表彰

＜説明＞ 明治21年12月31日までにお生れになった方々256名を敬老会へお招きし、町民こぞって長寿を祝福。

その中に四姉妹の長寿者(写真)も出席された。下宝町宮崎サト殿(88才)長女、下東町宮本サツ殿(86才)次女下宝町船崎マル殿(83才)三女西荒町町組脇エン殿(80才)四女で若者にも劣らぬご壮健ぶりで、町長賞を受けられた。今後のご健康をお祈りします。

#### 町政日記より

- 9. 12. 農業構造改善事業協議会
- 9. 14. 県体選手結団式
- 9. 15. 敬老の日
- 9. 18. 消防分団長会議
- 9. 農業委員会
- 9. 22. 臨時町議会
- 9. 23. 県民体育祭
- 9. 24. 駐在員会
- 9. 26. 老人クラブ連合大会
- 9. 27. 海難救助訓練

(町村合併十周年誌編さん)  
町村合併十周年を記念して、合併後十年間の長洲町の歩みを振り返った合併記念誌を編さん発行する。編さんには、町役場各課から編さん委員を任命し、現在編さんに当たっている。記念式典には間に合わないけれど、今年中には発行の予定である。以上が、合併記念行事のあらましである。文化祭その他、各種行事に多数参加されることを願っています。

戦前は君主政治で、天皇が主権者であった。当時の為政者は国民に「寄らしむべし、知らしむべからず」の政策を行なってきたから、国民は政治はお上がされるもので、自分たちは関係ないものだと思われていた。この傾向が戦後の民主政治になっても尾を引く、戦前に育った人たちは、特に、政治に対する関心は薄いようである。  
又、戦後育った若い世代の中には、最近よく言われる「マイホーム主義」的考えが多くなり、自分たちさえ幸福なら、他の人たちがどうなるかとかまわぬという人たちがふえ、戦前の人たちが違った意味で、政治に対する関心が薄く、社会参加がなされない傾向がある。  
税金のことにして、物価のことにして、物価の上昇、交通事情、物価が上って困る、とか、或は、交通事故にあつて困っている人があると思う。でも、その人たちは、どうして税金が高いのか、どうして物価が上がるのか、その原因をつきとめ、その対策をどうすればよいかまで考える人は少ないと思う。そこに大きな問題点があると思われる。  
◎政治的教養は主権者の必須条件である。

#### 明正選挙は政治教育から

明正選挙推進委員 林田幸昌

政治が良くなるのも、悪くなるのも、第一の責任は、そういう首長や議員を選ば住民にあるともいえる。私たちが、常によい政治が行なわれるように、正しく批判できる心をもたなければならぬ。それには、政治学習によって教養を身につけることである。長洲町で公民館が成人学級、婦人学級等政治学習をやっても、大へん出席率が悪い。その原因はいろいろあるかも知れない。しかし、生活が忙しくて、そんな学習に行く暇もない、と言われる人たちが大へん多い。私たちが、国の政治や地方自治体の政治のために、日常生活で困ったこと、悩んでいる人たちがいると思う。しかし、その根本の原因にはふれようとせず、その生活にふり廻らされて、忙しい日々を送っていられているのではないかと考える。

訂正  
六月号の本紙に、本年度予算の大綱について中逸町長が述べられている記事の中に、一般会計予算額が四月三十日付町の財政公報と相違して掲載されていたが、本紙の方が誤りで、町の財政公報が正しい数字であり、二億一千六百八拾八万円とあるのを二億一千七百七拾五万円に訂正いたします。

◎国道二〇八号線沿いの赤田公園の池も早ばつて黒褐色の底を見せている。水に困っている農家の人たちの苦勞は大へんなものである。一日も早く千金の慈雨が望まれる。◎「なにがなし、たのしきころ九月来ぬ草城」  
九月の声を聞くときさすがに朝夕はしのぎよくなったようだ。今年の夏は暑さがひどかっただけに、九月に入って救われたようなポツとした気持ちになった。◎NHK婦人学級だより九月号に、社会教育に関する国民世論調査がのつていた。  
それによると、「現在何か教育を受けたいと思うことがあるか」という質問に対して、六七%の人が、「ある」と答えている。しかもその九〇%までが働らきざかりの忙しい人だ。たまたま、つまり現代社会は絶えず勉強しなければいけない、特質を示している。◎長洲町でも、成人学級、家庭教育学級、婦人学級を開講しているが、家庭教育学級を除いては、出席率があまりよくない。一般成人がもっと参加できるように対策をたて、努力していきたい。◎九月十五日は第二回の「敬老の日」。本町でも敬老会を開催して老人を慰安致しました。今年も長洲地区で四人姉妹がそろって八十才以上で健在なことは誠にうれしき限りである。  
又、四人姉妹そろって出席され町長の表彰をうけられました。が、いつまでもご健勝をお祈りしたい。◎八月、沖洲の二十日会が、県防犯協会長から表彰された。沖洲のお母さんたちでつくれた二十日会は、青少年の健全育成に自主的に立ち上って努力してきた数年前の努力が実を結び、認められた結果である。とたくマイホーム主義が叫ばれているとき、自分の子どもだけでなく、部落の子どもたちを母性愛で見守っていくことは、りっぱな行為である。◎今年の十月一日は、長洲町と腹栄村が合併して十周年になり、その記念行事が予定されている。町民の融和もスムーズに進み、青年団も子ども会育成会も一本化している。生産者の団体である農協も一本化し、着々とその成果をあげている。合併十年を一つのステップにして、今後の発展のため努力していきたい。(林田)



教育熱心なお母さんたち

六栄家庭教育学級設置さる

文部省委嘱の家庭教育学級が本年度から大幅に拡大増設された。これは昭和三十一年度より文部省が開設し、同年本町でも腹赤清里地区を指定し、本年度は文部省も小学校区に設置腹赤、六栄、清里、長洲が指定を受けた。

郷土の先覚者安東兄弟

青年秀才安東清人 四王子神社の東北の隅に弓道場がある。その西側に高さ三メートル位の石碑が建っている。これは、長洲町の先覚者で、三十三才の若さで、惜しまれながら世を去った安東清人の碑である。

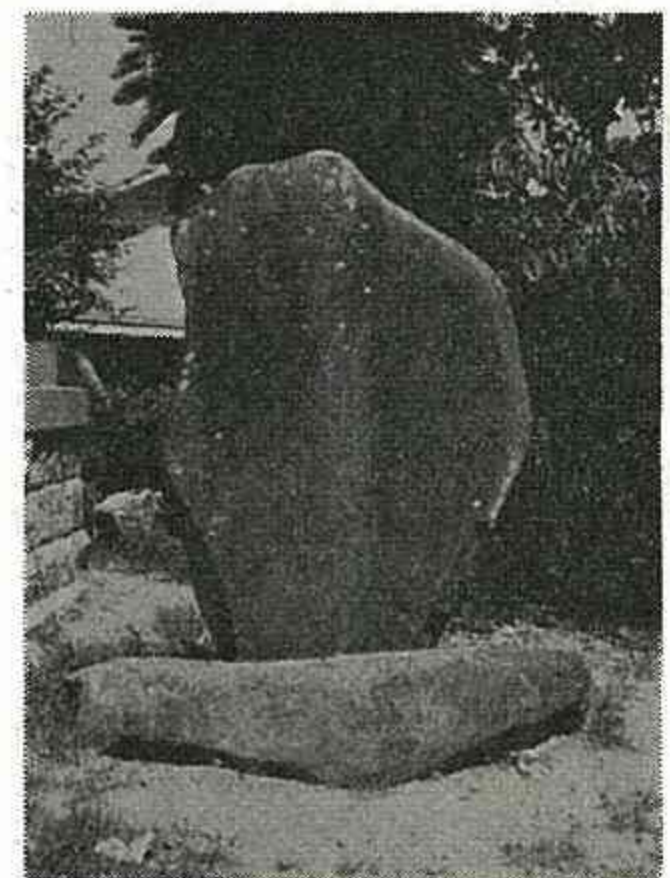
安東清人君の記念碑 君諱は清人、安東氏代々細川家に仕え、父俊文は藩物頭になる。母は内田氏。君は安政元年四月六日に肥後国玉名郡長洲町に生れる。年十才にして能く春秋を讀み、長ずるに及ぶ、藩の時習館に入る。竹添、木下氏に就いて経学を修め、明治元年撰ばれて、居寮生となる。明治三年、貢進生(藩の国内留学生)に推挙され、東京大学南校に入学生し、ドイツ語を修め、明治六年に学校が開成学校と改称し、その給費生となる。明治八年、官命によりドイツに留学し、フライベルヒ大学に入学生し、鉱山学を専攻したが、不幸にして、肺を患ひ、明治十年九月帰朝、明治

ガスの恐ろしさ

プロパン取扱い注意

すが非常に熱心なお母さん達で出席率も八〇パーセントを越える高率です。そこで、本町家庭教育学級年間計画を定め「豊かな人間性を育てよう」と目標を確立し、毎月一流大学の講師をお招きし学習しています。

安東清人宅は、長洲町長洲一三五七番地、現在の西原隆氏(出町)で、旧警察の隣りであった。西原隆氏夫人の話によれば、安東氏の住んでいられた家は、六年位前に、白蟻の被害がひどく解体し、改築したとのことで、現在はなくなっている。安東氏の家は、土蔵づくり瓦葺二階建て、座敷八畳二間、十畳、七畳、三畳、他に物置、炊事場、土間の延建坪五十坪の大きな家であったという。これを解体した一人である梅田の島田さんの話によれば、大へん壁が厚く、十二回白壁を塗った跡があったという。屋根は合掌つくりのようで、一回火災にあったことがあったと云った。安東清人は、菊池大蔵、小村寿太郎、鳩山和夫(鳩山一郎の父)等と東京大学で同級生であったとのことである。その記念碑は、最初四王子神社境内の



安藤清人の石碑

真人は、清人だけを抜萃して紹介しよう。

声

「投書」 私は長洲に住む一人の主婦ですが、警察のお方の余りきついお言葉で泣いてきた者がござい

この觀念を家族に徹底させ、そして部落民に、更に町全体に波及を大きく広げて行くことが真の安全運動ではないでしょうか。

安東清人、真人の兄弟は、長洲町に於て忘れてならない先覚者の中の人々であることを私たちは想起したい。(林田)

才22回

郡民体育祭開かる

野球・ソフト(男子) 勝優

灼熱の太陽がシリ／＼照らし 身も心も焼きこげる程の炎天下 のもとに、去る八月六日、第 十二回玉名郡民体育祭が玉名の 各会場に於て、はな／＼と開 催された。

本町から野球(於俗南中) ソ フト男、女(玉名商高)陸上( 玉高)卓球(玉女子高)バレー 、バスケット(玉中)に参加 し、平素体内に宿る実力を堂々 と発揮し、手に汗握る各会場と も熱戦のすえ、みごと野球、男 子ソフトが栄冠を勝ち得た。 以下結果は次の通り。

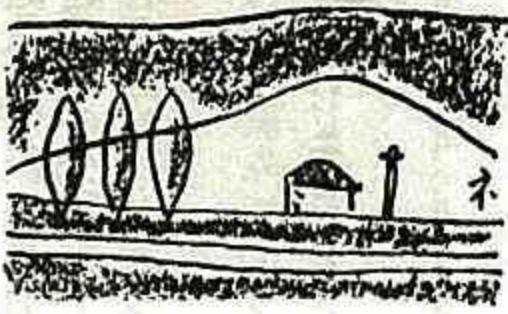
優勝 野球 男子ソフト 軟式卓球 女子ソフト 陸上総合

清源寺チーム優勝

早起きソフト大会

恒例の早起きソフト大会が、七月十一日(二十一日)の十日間長中グラウンドで展開された。これはスポーツを通じて、町民の親睦融和と健康増進をはかることが趣旨で、十一日午前五時三十分、中逸町長、浮島教

町の美談



な お本年は合計三〇〇才以上の年齢制限のため珍技妙技も続出した。三位 塩屋、中宝 二位 下東 二位 清源寺 二位 下東

郷土愛の善行

自衛隊本町出身の前田君

風雨の中のソフト大会

皆さんも御承知のように、去る六月七日不幸にして東荒神町の失火から、大明神町の一部を類焼する火災がありました。が、本町出身自衛隊、熊本第八師團所属の前田哲平君(24)はこのことを、逸早く聞き知らせられ薄給の中から被災者の方々に、多額の見舞金を駐在員を煩わして、お目をつけました。

この郷土を愛する善行に対しては、被災者ももとより、地元今口、菊川両駐在員をはじめの附近の人々の感激の的となつてい

☆ 長洲西新町、宮路自 転車店に同居する長本 三義さん(44才)は、年 に似ぬ若さを持つ人で

☆ 唯一人、協会長感謝状 を受けた。信号機を取りつて 以来、一日の休みもなく朝は早 くに点灯夜は遅く消灯を続けて来 た功績に対しての感謝状であ

ただ一口に信号機の点滅と云 えど、雨の日も風の日もある、 私生活の面から束縛される面が 多々あったらう。一町民とし て、この遂行に全身をかけ、町 民の交通安全をただひたすらに 祈念しての努力であった。

感謝状を受ける長本さんの額 に一本のしわが浮かぶ、がっちり した体格には似つかわしいやき しそうな目、口、...そこには 親しさが自然にわく、しかしそ の奥に秘められた何物かには威 厳と風格が窺える。

親の不注意で子供を不幸な目 に合わせてならない!!子供を人 一倍かわいがり長本さんの信条 が他の人では出来ないこの仕事を なしとげさせたゆえんである う、折しもこの長本さんの努

ぜひこれだけは

交通教室

男性らしい清潔さと、女性らしい品のよさは本場に感じのよいものですが、交通ルールをわかきまえてこれを正しく実践してこそ現代人の資格があるようです。交通法規の中で日常生活に特に深い部分を掲げて見まし

一、人は右、車は左の原則は誰でも知っておりますが、法規上の定義は 「車両とは、自動車、原動機付自転車、軽車両及びトロリーバスをいう。」

力は世界一周のあのヨット青年のはなやかさに比し、人の目につかない地味なものである。ほとんどの人が、交通安全を祈念し信号機の点滅を続ける長本さんの苦勞を知らないだろう。

「はげしい世界大戦には終りがあると、しかし交通戦争にはまだ止まる事を知らない。」私は何回も心の中で繰り返した。

長本さんは、感謝状と共に受け た金一封を未だ幸うすき人の為にと、そっくり社会福祉事業に 寄附された。私はこの事を私一人の胸に止めておこうとしたそ

の善行をたたえる唯一のものだ と思つたから、しかし長本さん の信条のなげはげしい世界大戦 には終りがあると、しかし交通戦争には未だ止まる事を知らない!!この一言を町民の皆さんにお知らせしたく筆を取つた。

善行!!努力!!それは確かに地味なものである。しかしこの地味な言いこそ、明日の交通戦争の終止符となり得ないものだろう。いや、少くともこの長洲町から交通安全事故を出さないよう、町民の中から一人の違反者も出さないよう努力しなくては ならない。それには政治の力も必要であらう、しかし最大の事故防壁は、この長本さんのような地味な努力であらう事を附記し筆を止める。

農地の贈与税

知っておきたい

贈与税には、農業を営んでい る人が、子供など将来自分の相続人となる人に、農業を経営させるため、農地などを贈与した場合は、一定の条件で特例がみとめられております。

明らか正しい選挙作文募集

私たちが生活を豊かに 楽しいものにするためには、政治をとりつばなものになければなりません。そして、りつばな政治が行なわれるには、選挙が明るく正しく行なわれなければなりません。

道路において交通の妨害となるような方法をねをべりすわり、しゃがみ、又は立ちどまつてゐること。(罰則三万円以下の罰金)

道路使用の許可について。道路において工事若しくは作業をしようとする者又は当該工事若しくは作業の請負人。

場所を移動しないで道路に露店、屋台店その他これに類する店を出そうとする者。道路において競技会、ちようちん行列、仮装行列、パレード、集団行進等を行うこと。

広告または宣伝のため、車両等に著しく人目をひくような特異な装飾その他の装いをし、または拡声機を使用して通行すること。(以下省略)

道路の状態を見ると、その地域の交通安全の認識の程もろろかえまます。道路は公共の場所であることを再認識したいものです。

応募規定

1、題名 明るく正しい選挙をとおすことと関係のある内容で題名は自由です。

2、字数 二〇〇〇字以内(四〇〇字詰原稿用紙五枚以内)

3、応募資格 小学校児童、中学校および高等学校生徒一人一点

4、締切日の提出先 十月十一日(水)まで長洲町役場選挙管理事務局まで提出してください。

5、その他 応募作文の末尾には、学 校名、学年、氏名、性別をかならず書き添えてください。

6、応募作文はお返しできません。 応募作文は自由に利用させていただきます。

審査員は、 熊本商大 野淵健之先生、 熊本商大 丸山 学先生、 教授

入選各三名 佳作若干名 入選者、佳作者には、賞状と記念品を、応募者全員に賞状をおくりまます。

発表 十二月予定 主催 熊本県明るく正しい選挙推進協議会 熊本県選挙管理委員会 長洲町明るく正しい選挙推進協議会 長洲町選挙管理委員会

ボーイスカウト 子供会へ寄付

左記の方からボーイスカウトの育成資金としてご寄附いただきまます。 豊田政行様より、 豊田政三殿の香典返しを 駅通り、田上様より地区館の手当をすつくりボーイスカウトの育成資金としてご寄附いただきました。

左記の方から子ども会の育成資金としてご寄附いただきまます。 高野つとむ殿の香典返しを 高野一郎様より

社協へ寄附

長洲町社会福祉協議会へ事業資金の一端として香典返しを寄附。

村井トシ殿死亡による香典返しを村井一馬殿より 藤末寿殿死亡による香典返しを藤末初好殿より 浜口竜五郎殿死亡による香典返しを浜口高次郎殿より

宮田ミツ殿死亡による香典返しを宮田与四郎殿より 酒井一喜殿死亡による香典返しを酒井貞義殿より

長本初蔵殿死亡による香典返しを長本和四郎殿より 林堪子殿死亡による香典返しを林政次殿より

それぞれ寄附がありました。

踏切では必ず 両側の線に注意

悲惨な事故を防ぐために 九月十九日から長洲(南荒尾)間の線路上り下り線とも通行してゐます。複線区間の事故の原因はその八六%が列車の「直前横断」によつて発生してゐます。

しかも注意すべきことは、その事故の八〇%以上が警報機つきの踏切りで発生していること。これは、いままでも、単線区間であつた踏切りが複線になると一般の通行者が複線であることと考えず、一方の線路の列車が通過すると、警報機がなつていても通り抜けようとして、反対線路を走つてくる列車と衝突し悲惨な事故になるのが通例です。複線区間の踏切りでは必ず両側の線路に注意して、右と左をよく確かめてから通行するようにしましょう。

編集後記

田園一帯イローベルトに包圍され、異例の干ばつで農家の 方々の御苦勞を察いたしました。お手もとにお届けするのが今日になり恐縮に存じます。内容を充実強化にするため、皆さんの建設的な御寄稿をお待ち申し上げます。(城戸)